

ご長寿を祝い真岡市長から祝詞

栃木県で最高齢の安達サタさん 110歳

栃木県で最高齢の安達サタさん（110）をお祝いし、5月17日に栃木県真岡市の石坂真一市長が介護老人保健施設すばるを訪れ、安達さんに祝詞と花束を贈呈しました。安達さんは栃木県内で最高齢といい、茨城県内でも最高齢です。

石坂市長から「日本一を目指して、長生きしてください」と祝詞と花束を受け取った安達さんは、大きくうなずいていました。

安達さんは、明治41年10月生まれ。昭和19年の戦争中に夫が南シナ海で戦死。農業を営み、女手一つで6人に子供を育ててきました。自宅は真岡市で、平成27年まで自宅で暮らしていましたが、階段を踏み外して打撲してから筑西市内の施設に入所。すばるには昨年12月に入所しました。自宅では毎日2キロを歩き、読書をして過ごしていたといいます。すばるでは好き嫌いなく何でも食べ、マイペースで生活しながら、筆談や大きな声でほかの人とコミュニケーションをしているといいます。

この日は新聞やテレビの取材も訪れました。長男の良一さんも取材に対し「若い時から働き者で、しっかりしたおふくろです。いつまでも元気でいてくれるの

がうれしい。明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代を元気に過ごしてきました。1日でも長生きしてもらいたい」と話していました。

2019年5月17日

